

(別紙)

障害児支援分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 愛知県

【基本情報】

フリガナ	シャイワケホクシタイク
法人名	社会福祉法人 太陽
フリガナ	ホカゴトデイサービスホリ
事業所名	放課後等デイサービス きらり
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
放課後等デイサービス	
職員数（常勤換算数） 【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
6.5人	
ICT機器等導入完了日	令和 6年 3月 11日

※行・列の追加は行わないでください。

（１）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
シフト表作成	②一部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等に対応）
③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等に対応）

（２）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	ノートPCA6BCHVF8LA25/OF	1台	
③タブレット	①作業の迅速化	Chromebook CB314-4H-F14N	2台	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備 考	
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)					
①支援記録の作成	3人	270件	3,240件	10分	540時間	180時間		
⑦その他	3人	25件	300件	60分	300時間	100時間	企画作成業務	
⑧その他	3人	10件	120件	40分	80時間	27時間	自立課題の教材作成	
		305件	3,660件	110分	920時間	307時間		

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日平均10名の利用児童数に、ひと月の平均開所日数の21日を掛けた件数。

ひと月あたりの平均企画数。

ひと月あたりの自立課題用の教材の平均作成数。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

児童1名に係る支援記録の作成に、実際に要している時間の平均的な時間。

1件あたりの企画作成業務に、実際に要している時間の平均的な時間。

1件あたりの自立課題の教材作成業務に、実際に要している時間の平均的な時間。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備 考	
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)					
①支援記録の作成	6人	270件	3,240件	10分	540時間	90時間		
⑦その他	4人	25件	300件	50分	250時間	63時間	企画作成業務	
⑧その他	4人	20件	240件	20分	80時間	20時間	自立課題の教材作成	
		315件	3,780件	80分	870時間	173時間		

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日平均10名の利用児童数に、ひと月の平均開所日数の21日を掛けた件数。

ひと月あたりの平均企画数。

ひと月あたりの自立課題用の教材の平均作成数。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

児童1名に係る支援記録の作成に、実際に要している時間の平均的な時間。

1件あたりの企画作成業務に、実際に要している時間の平均的な時間。

1件あたりの自立課題の教材作成業務に、実際に要している時間の平均的な時間。

年間業務時間削減率 (%)

5.4%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0ページ
		0ページ
		0ページ
	0ページ	0ページ

年間作成文書量削減率 (%)

#DIV/0!

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

法人内の複数の障害児通所支援事業所が集まる会議において、互いの事業所におけるICT化に関する課題等について情報交換を行った。事業所内においては、各スタッフからも問題点や効率化についての意見を聴取した。以前より法人全体としてICTシステムの導入を推進しており、それに伴いICT機器も順次増やしてきていた。ICT機器を有効に活用していけるよう、ICTシステムの運営業者と連携しながら取り組んでいく。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
☒ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
☐ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☒ 5 その他の効果があった。
☐ 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ICT機器が増えたことに伴い、同時に事務作業ができるため、作業効率が上がった。

ソフトウェア導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
☐ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
☐ 6 その他の効果があった。
☐ 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

支援記録の作成に使用できるパソコンが少なかったことにより、全職員が同時に作業に取り組むことが困難な状態であったが、今回のICT機器導入補助事業により使用できるパソコンとタブレットを購入したことで、全体的に係る作業時間が短縮された。また、タブレットを購入したことにより、支援現場においても入退室管理等を即時的に行えるようになった。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

サービス提供時間終了後、翌日の準備や、支援に必要な物の作成や企画準備の時間も増えた。また、自立課題等の作成や企画の準備時間を短縮することができるようになった。さらに、各職員が時間を制約されることなくPC業務を行えることで時間を有効に使うことができるようになった。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

--